

407) おしゃれ

小生はこう見えても基本的には結構おしゃれである。だからネクタイにしろ、靴にしろスーツにしろ、ぜんぶ自分で選んで自分でコーディネートしている。しかし短足胴長の体型はいかんともしがたい。また靴はやたらと横幅が広く、たいてい小指のあたりから壊れてくる。そんなわけで特に靴は結構探すのに苦労する。先日とても履きやすそうで、しかもしゃれたデザインの靴を見つけたので、同じデザインのを茶色と黒の2足買うことにした。洋服に合わせて履き分けようと考えたのである。

さてある朝、春の明るい日差しになったので、気分を変えて、明るい紺のスーツを着て、例の茶色の靴を履いて行くことにした。しかしちょっとネクタイなどのコーディネートに手間取って、家を出るときにはあたふたと駆け出す始末になってしまった。浦和駅で快速に乗り換えて、いつもは上野まで立ち通しなのだが、この日は運良く赤羽で座ることができた。そしてふと足下を見ると、どういうわけか茶色の靴を履いてきたつもりなのに、靴が黒い。慌ててもう片方を見ると、こちらのほうは茶色である。アリア！片方ずつはいてきてしまった。なんたる失策。どうしよう。今から引き返すわけには行かない。まっ、いいか。これも最新のファッションよ、とばかり、とにかくできるだけズボンの裾で、靴が隠れるようにズボンをずり上げて、その日は切ない一日を過ごしたのであります。でも誰もこの最新ファッションに気づかなかったみたい。世の中そんなもんだわい。